

みんながいきいきと暮らせていますか？

なぜ地域での男女共同参画が必要なのか？

みなさんを取り巻く身近な地域社会において、男性か女性かによって役割や出番を決められたことはありませんか。町会の日常的な活動は女性が行っていても、役員は男性がするものと決めていますか。地域には、地域の情報や人とのつながりが豊富な女性がたくさんいます。女性も積極的に役員等を引き受ける姿勢が大切です。また、男性も退職後には、地域活動に関わり、男女が協力して参画していきましょう。



女性の視点で考える災害・防災

3.11 東日本大震災での避難者の声や支援者から学び、女性の視点で考える防災のまちづくりが必要とされています。災害はいつどんな状況で起こるかわかりません。日頃から災害時における年齢や男女のニーズの違いを考慮して防災体制を整え、それぞれの立場の意見を尊重しましょう。そして、男女が協力し合い地域の人たちの安全・安心を守ることが大切です。

◆ 避難所運営も女性の視点があるといいですね。

- 管理責任者は男女両方を配置
- 自治的な運営組織の役員への女性の参画の確保
- 女性や子育て家庭の意見及びニーズの把握
- 女性用品（生理用品、下着等）の女性の担当者による配布
- 避難者による食事作り・片付け、清掃等の役割分担（男女を問わずできる人が分担）
- 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談の実施（男女両方の相談員の配置）

私たちのまちのこと、みんなで参加しみんなで考えよう。